

第6節 プラットフォームの動向

1 市場動向

2023年の世界のICT関連市場の主要プレーヤーの時価総額をみると、2022年に5位だったMeta Platforms（Facebook）は広告収益の減少や後発SNS（TikTok等）の躍進などによって時価総額が大きく減少し後退したものの、その他の上位企業は昨年度と大きな変動はなく、クラウドサービス、SNS、セキュリティなどを手掛ける企業が株式市場で評価されている（[図表4-6-1-1](#)）。

図表4-6-1-1 世界のICT市場における時価総額上位15社の変遷

2022年				2023年			
社名	主な業態	所在国	時価総額（億ドル）	社名	主な業態	所在国	時価総額（億ドル）
Apple	ハード、ソフト、サービス	米国	28,282	Apple	ハード、ソフト、サービス	米国	25,470
Microsoft	クラウドサービス	米国	23,584	Microsoft	クラウドサービス	米国	20,890
Alphabet/Google	検索エンジン	米国	18,215	Alphabet/Google	検索エンジン	米国	13,030
Amazon.com	クラウドサービス、eコマース	米国	16,353	Amazon.com	クラウドサービス、eコマース	米国	10,270
Meta Platforms/Facebook	SNS	米国	9,267	↑ NVIDIA	半導体	米国	6,650
NVIDIA	半導体	米国	6,817	↓ Meta Platforms/Facebook	SNS	米国	5,370
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体	台湾	5,946	↑ Tencent	SNS	中国	4,690
Tencent	SNS	中国	5,465	↑ Visa	決済	米国	4,600
Visa	決済	米国	4,588	↓ Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体	台湾	4,530
Samsung Electronics	ハード	韓国	4,473	↑ Mastercard	決済	米国	3,440
Mastercard	決済	米国	3,637	↓ Samsung Electronics	ハード	韓国	3,280
Alibaba	eコマース	中国	3,589	↑ Broadcom	ハード、半導体	米国	2,610
Walt Disney	メディア	米国	2,811	↓ Alibaba	eコマース	中国	2,570
Cisco Systems	ハード、セキュリティ	米国	2,578	new Oracle	クラウドサービス	米国	2,450
Broadcom	ハード、半導体	米国	2,557	↓ Cisco Systems	ハード、セキュリティ	米国	2,100

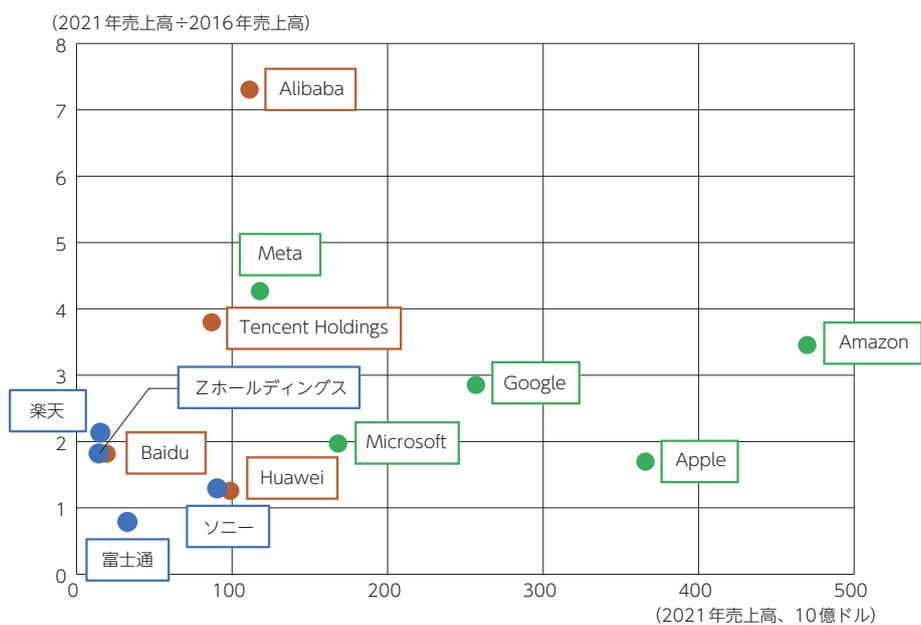
※ 2022年は2022年1月14日時点、2023年は2023年3月31日時点

（出典）Wright Investors' Service, Incより取得^{*1}

日本、米国及び中国の主なプラットフォーマーなどの2021年の売上高^{*2}を比較すると、最も大きいのはAmazon（約51兆5,648億円）で2016年比3.5倍となっている（[図表4-6-1-2](#)）。中国のAlibaba（12兆2,080億円）は2016年比で7.3倍と高い成長となっている。一方、日本企業は規模も小さく、楽天2.1倍、Zホールディングス1.8倍、ソニー1.3倍、富士通0.8倍と成長の面でも見劣りする。

*1 <https://www.corporateinformation.com/#/tophundred>
 *2 日本、中国企業については、各年の平均レートを用いてドルに変換している。

図表4-6-1-2 日米中のプラットフォームの売上高



2 主要なプラットフォームの動向

米中の主要なプラットフォーム各社は、それぞれの強みを活かし、生成AIやメタバースを含む新たな分野・ビジネスへの取組に力を入れている。特に生成AIに関する開発については、複数のプラットフォームが力を入れており、今後、主導権を巡る競争の激化が予想される（図表4-6-2-1）。

図表 4-6-2-1 米中の主要なプラットフォームの動向

<米国>

主要分野	企業	事業概括・領域	新たに注力している分野・ビジネス
広告・検索	Alphabet (Google) 	世界最大の検索エンジンサービスを提供しており、検索広告を中心にクラウド、端末など巨大な経済圏を展開	生成AIを検索エンジンの脅威と捉え、Google検索と連動したチャットAI「Bard」を公開するなどAI技術を活用した検索エンジンの強化を進めている。
電子商取引	Amazon 	世界最大級のeコマース事業者で、クラウドサービス (AWS) を中心に巨大な経済圏を展開	クラウドサービスの強化とECサイトでの広告サービス強化を進めている。
SNS・アプリ	Meta (Facebook) 	世界最大級のSNSサービスを提供しており、2021年に社名をメタ・プラットフォームズに変更し、メタパース事業への取組を推進	SNSの広告収益がやや鈍化する中、将来の柱を目指してメタパース事業に注力している。
通信機器・端末	Apple 	世界最大のネット・デジタル家電の製造小売であり、iPhoneなどの端末を核とした巨大な経済圏を展開	iPhoneを中核に据えたビジネスを拡大しており、近年はApple Watchを活用したヘルスケア領域の拡大にも注力している。
端末・クラウド	Microsoft 	世界最大級のソフトウェアベンダーであり、WindowsやOfficeなどのソフトウェアやクラウドサービスを中心に巨大な経済圏を展開	OpenAI社とパートナーシップを拡大するなど生成AIの活用に入力している。

<中国>

主要分野	企業	事業概括・領域	新たに注力している分野・ビジネス
広告・検索	Baidu 	中国最大の検索エンジン事業者で、検索エンジンをベースに人工知能 (AI) 技術に注力し、深層学習、自動運転、AIチップなどの領域に事業展開	最新の大規模言語モデルに基づいた生成AI「文心一言 (ERNIE Bot)」を2023年3月16日に発表し、自社プロダクトへの生成AIの搭載を図る
電子商取引	Alibaba 	世界最大の流通総額を持つeコマース事業者で、データテクノロジーを駆使し、マーケティングから物流、決済に至るまでのサービスを提供	グループ企業であるアリババクラウドは2023年4月11日に、企業向けに新たなAI言語モデル「通義千問 (Tongyi Qianwen)」を発表し、AIビジネスを開拓
SNS・アプリ	Tencent 	中国最大のSNSアプリプラットフォームで、「WeChat」を基盤に決済、ゲーム等を提供し、巨大なデジタルエコシステムを構築	スマートモビリティに特化したクラウドソリューション「車図雲ソリューション」を2022年11月30日に発表し、自動運転に必要な地図サービスを等を提供し、モビリティ分野に注力
通信機器・端末	Huawei 	世界的なリーディング通信機器ベンダーで、テレコムネットワーク、IT、スマートデバイス、クラウドサービスの4つの主要分野に事業展開	2021年6月にデジタルエネルギー製品・ソリューションを提供する子会社Huawei Digital Power Technologiesを設立し、グリーン発電など、エネルギー分野に展開

(出典) 各社公表資料を基に作成

関連データ



米中の主要プラットフォームの事業別売上高

出典：各社決算発表資料を基に作成

URL：https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/html/datashu.html#00219 (データ集)